



春日っ子通信

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹

いよいよ明日は、卒業式です！おめでとう6年生



今日は6年生の修了式でした。

修了式では、卒業証書の意味や、証書に書いてある内容についての話をしました。世界にたった1つしかない自分だけの卒業証書、きっと子どもたちは、心を込めて返事をして、しっかりと受け取ってくれるものと思います。

明日は、いよいよ卒業式です。私から、子どもたち一人一人に卒業証書を渡します。

これまで、約2週間の準備を行いました。卒業していく6年生は、本校の伝統を残すために、その姿で表現してくれています。5年生にとっては、この卒業式を経験することを通して、来年度の6年生としての自覚が生まれてくるものと思います。練習風景等の5年生の子どもたちの姿から、そのことを感じることができました。5年生、たいへんよく頑張っています。

学校には、節目となる行事がいくつかあります。運動会、音楽発表会、自然教室、修学旅行、卒業式等です。その行事に向かった取組は、子どもたちの心と体の成長に大いに影響を及ぼします。結果ではなく、その過程に価値があると思っています。

明日は、きっと素敵な卒業証書授与式になると思います。



本校が目指したものとは

学校における教育目標（こんな子どもにするという方向性）は、指導者である教師はもちろん、子どもたちも認識しておく必要があります。また、本校は、コミュニティ・スクールですので、同時に家庭や地域も周知しておくことが大切です。

先日の「お別れ集会」では、6年生から、5年生への鍵（これから頑張る目標）を渡す場面において、この教育目標の中身を子どもたちが受け継いでくれていました。子どもたちも意識していること、またそのことを受け継いでくれること、大変嬉しく思いました。

「立ち止まり挨拶」「もくもく掃除」は、本校の特色になりつつあります。今後も本校の伝統として、受け継がれていくものと思います。

さて、残すところ1週間となりました。本年度のまとめと来年度に向けての準備をしていきたいと思っています。